

平成24年行政事業レビューシート

(国土交通省)

事業名	戦傷病者等無賃乗車船等		担当部局庁	国土交通省鉄道局		作成責任者	
事業開始・終了(予定)年度	S31年度～		担当課室	鉄道事業者旅客輸送業務監理室		滝沢 広明	
会計区分	一般会計		施策名	—			
根拠法令 (具体的な条項も記載)	戦傷病者等特別援護法第23条第3項		関係する計画、通知等	—			
事業の目的 (目指す姿を簡潔に。3行程度以内)	軍人軍属等であった者の公務上の傷病に関し、国家補償の精神に基づき、鉄道等への乗車船の無賃取扱いについて援護を行うことを目的とする。(戦傷病者特別援護法第1条及び第9条)						
事業概要 (5行程度以内。別添可)	戦傷病者特別援護法(昭和38年法律第168号)の規定に基づき、戦傷病者及びその介護者が旅客鉄道会社の鉄道又は連絡船に無賃で乗車船した場合の運賃について、国が負担する。また、旅客鉄道会社において実施している当該者に係る特別急行料金及び普通急行料金の無料取扱いについても、同法の趣旨及び旅客鉄道会社の負担軽減の見地から、その一部を国が負担する。						
実施方法	<input type="checkbox"/> 直接実施 <input type="checkbox"/> 委託・請負 <input type="checkbox"/> 補助 <input checked="" type="checkbox"/> 負担 <input type="checkbox"/> 交付 <input type="checkbox"/> 貸付 <input type="checkbox"/> その他						
予算額・執行額 (単位:百万円)	予算の状況	21年度	22年度	23年度	24年度	25年度要求	
		当初予算	148	140	96	77	59
		補正予算	0	0	0	0	
		繰越し等	0	0	0	0	
	計	148	140	96	77	59	
	執行額	148	140	96			
執行率(%)	100%	100%	100%				
成果目標及び成果実績 (アウトカム)	成果指標		単位	21年度	22年度	23年度	目標値(年度)
	戦傷病者特別援護法に基づく負担金であり、成果目標及び成果実績を定めて実施するという性質のものではない		成果実績				
活動指標及び活動実績 (アウトプット)	活動指標		単位	21年度	22年度	23年度	24年度活動見込
	戦傷病者特別援護法に基づく負担金であり、活動指標及び活動実績を定めて実施するという性質のものではない		活動実績(当初見込み)		()	()	()
単位当たりコスト	12,778千円(76,669千円/6事業者)		算出根拠				
平成24・25年度予算内訳	費目	24年度当初予算	25年度要求	主な増減理由			
	戦傷病者等無賃乗車船等負担金	77	59	戦傷病者数減少のため			
	計	77	59				

事業所管部局による点検			
	評価	項目	評価に関する説明
目的・予算の状況	－	広く国民のニーズがあり、優先度が高い事業であるか。	戦傷病者特別援護法に基づく負担金であり、義務的経費となっている
	○	国が実施すべき事業であるか。地方自治体、民間等に委ねるべき事業となっていないか。	
	－	不用率が大きい場合は、その理由を把握しているか。	
資金の流れ・使途・費目	－	支出先の選定は妥当か。競争性が確保されているか。	負担金の対象は、戦傷病者及びその介護者が旅客鉄道会社の鉄道又は連絡線に乗車船した場合の運賃及び特別急行料金・普通急行料金に限定されている
	－	単位あたりコストの削減に努めているか。その水準は妥当か。	
	－	受益者との負担関係は妥当であるか。	
	－	資金の流れの中間段階での支出は合理的なものとなっているか。	
	○	費目・使途が事業目的に即し真に必要なものに限定されているか。	
活動実績・成果実績	－	他の手段と比較して実効性の高い手段となっているか。	
	－	適切な成果目標を立て、その達成度は着実に向上しているか。	
	－	活動実績は見込みに見合ったものであるか。	
	－	類似の事業があるか。その場合、他部局・他府省等と適切な役割分担となっているか。 ※類似事業名とその所管部局・府省名	
	－	整備された施設や成果物は十分に活用されているか。	
点検結果	戦傷病者特別援護法に基づく負担金であり、義務的経費となっている。		
予算監視・効率化チームの所見			
現状通り	戦傷病者等無賃乗車船等負担金は、戦傷病者特別援護法(昭和38年法律第168号)の規定等に基づく、義務的な経費であるため現状通りとする。		
上記の予算監視・効率化チームの所見を踏まえた改善点(概算要求における反映状況等)			
現状通り	チーム所見を踏まえ、現状通りとした。		
補記(過去に事業仕分け・提言型政策仕分け・公開プロセス等の対象となっている場合はその結果も記載)			
関連する過去のレビューシートの事業番号			
平成22年行政事業レビュー	0288	平成23年行政事業レビュー	0265

※平成23年度実績を記入

国土交通省
96百万円

〔 国は、予算の範囲内で適切に執行を行う。 〕



【交付】

各旅客会社(JR6社)
96百万円

資金の流れ
(資金の受け
取り先が何を
行っているか
について補足
する) (単
位: 百万円)

A. JR西日本			E.		
費目	使 途	金 額 (百万円)	費目	使 途	金 額 (百万円)
負担金(運賃)		22			
負担金(特別急行料金等)		11			
計		33	計		0
B.			F.		
費目	使 途	金 額 (百万円)	費目	使 途	金 額 (百万円)
計		0	計		0
C.			G.		
費目	使 途	金 額 (百万円)	費目	使 途	金 額 (百万円)
計		0	計		0
D.			H.		
費目	使 途	金 額 (百万円)	費目	使 途	金 額 (百万円)
計		0	計		0

費目・使途
 (「資金の流れ」
 においてブロックごとに最大の
 金額が支出されている者について
 記載する。費目と使途の双方
 で実情が分かるように記載)

支出先上位10者リスト

A.

	支出先	業務概要	支出額 (百万円)	入札者数	落札率
1	JR西日本	鉄道運送事業の実施	33		
2	JR東日本	鉄道運送事業の実施	30		
3	JR九州	鉄道運送事業の実施	13		
4	JR東海	鉄道運送事業の実施	12		
5	JR四国	鉄道運送事業の実施	6		
6	JR北海道	鉄道運送事業の実施	2		
7					
8					
9					
10					

B.

	支出先	業務概要	支出額 (百万円)	入札者数	落札率
1					
2					
3					
4					
5					
6					
7					
8					
9					
10					